## 情報公開文書

所属(診療科等)  国立病院機構舞鶴医療センター 脳神経外科  研究責任者  大井 雄太  研究機関  研究機関  研究機関の長の許可日から 2027 年 3 月 31 日まで  medi VRカグラガイド下リハビリテーション (体性認知協調療法とも呼ぶ) の各種身体機能、認知機能指標に対する改善効果を検証する。外来、あるいは入院患者に対して使用し、その効果を前向き介入研究のデータとして集め、他疾患でカグラを使わない患者のデータも同様にデータ収集して比較するなど多面的な解析を行う。  ●対象となる患者さん; 身体機能障害(失調症状、歩行やパランス障害、上肢機能障害、構音・嚥下障害等)、又は認知機能障害(高次脳機能障害、注意障害及び半側空間無視等)を呈する患者。各疾患又は病態に応じてそれぞれ 10-15 例程度。ただし可能な範囲でより多くの被験者データを集め、精度の高い解析を目指す。  ●利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「問い合わせ」までご連絡ください。  ●研究の概要・方法: medi VR カグラガイド下リハビリテーションの前後で基礎疾患や病態に応じて以下の指標を計測、評価。各種身体機能評価指標: 10m 歩行テスト、Timed up and go test (TUG)、Functional Independence Measure (FIM)、Berg balance scale (BBS)、重心動揺計測定値、等。各種認知機能評価指標: Mini-Mental State、長谷川式簡易知能スケール(HDS-R)、Self-Rating Depression Scale (SDS) スコア、高次脳機能障害患者に関しては反応性や自発性の有無等。その他研究者が必要と認めた指標。ただし、状況や必要性に応じて取得する変数を適宜取捨選択する。研究担当者氏名:大井 雄太 (医師) 国立病院機構舞鶴医療センター 脳神経外科性所:京都府舞鶴市字行永 2410 番地	研究課題名	mediVRカグラを用いた体性認知協調療法の臨床効果に関する
研究責任者  研究機関  国立病院機構舞鶴医療センター 脳神経外科  研究期間  研究機関の長の許可日から 2027 年3 月 31 日まで  medi VRカグラガイド下リハビリテーション (体性認知協調療法とも呼ぶ) の各種身体機能、認知機能指標に対する改善効果を検証する。外来、あるいは入院患者に対して使用し、その効果を前向き介入研究のデータとして集め、他疾患でカグラを使わない患者のデータも同様にデータ収集して比較するなど多面的な解析を行う。  ●対象となる患者さん: 身体機能障害(失調症状、歩行やパランス障害、上肢機能障害、構育・嚥下障害等)、又は認知機能障害(高次脳機能障害、注意障害及び半側空間無視等)を呈する患者。各疾患又は病態に応じてそれぞれ 10-15 例程度。ただし可能な範囲でより多くの被験者データを集め、精度の高い解析を目指す。  ●利用する情報: 患者さんの背景(年齢、性別、基礎疾患など)本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「問い合わせ」までご連絡ください。  ●研究の概要・方法: medi VR カグラガイド下リハビリテーションの前後で基礎疾患や病態に応じて以下の指標を計測、評価。各種身体機能評価指標: 10m 歩行テスト、Timed up and go test (TUG)、Functional Independence Measure (FIM)、Berg balance scale (BBS)、重心動揺計測定値、等。各種認知機能評価指標: Mini-Mental State、長谷川式簡易知能スケール(HDS-R)、Self-Rating Depression Scale (SDS) スコア、高次脳機能障害患者に関しては反応性や自発性の有無等。その他研究者が必要と認めた指標。ただし、状況や必要性に応じて取得する変数を適宜取捨選択する。研究担当者氏名:大井 雄太 (医師) 国立病院機構舞鶴医療センター 脳神経外科性所:京都府舞鶴市字行永 2410番地		前向き研究
研究機関  国立病院機構舞鶴医療センター 脳神経外科  研究期間  研究機関の長の許可日から 2027 年 3 月 31 日まで  mediVRカグラガイド下リハビリテーション (体性認知協調療法と も呼ぶ)の各種身体機能、認知機能指標に対する改善効果を検証す る。外来、あるいは入院患者に対して使用し、その効果を前向き介 入研究のデータとして集め、他疾患でカグラを使わない患者のデータも同様にデータ収集して比較するなど多面的な解析を行う。  ●対象となる患者さん: 身体機能障害(失調症状、歩行やバランス障害、上肢機能障害、 構音・嚥下障害等)、又は認知機能障害(高次脳機能障害、注意障害及び半側空間無視等)を呈する患者。各疾患又は病態に応じてそれぞれ 10-15 例程度。ただし可能な範囲でより多くの被験者データを集め、精度の高い解析を目指す。  ●利用する情報: 患者さんの背景(年齢、性別、基礎疾患など)本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「問い合わせ」までご連絡ください。  ●研究の概要・方法: mediVR カグラガイド下リハビリテーションの前後で基礎疾患や病態に応じて以下の指標を計測、評価。各種身体機能評価指標: 10m 歩行テスト、Timed up and go test(TUG)、Functional Independence Measure(FIM)、Berg balance scale(BBS)、重心動揺計測定値、等。各種認知機能評価指標: Mini-Mental State、長谷川式簡易知能スケール(HDS-R)、Self-Rating Depression Scale(SDS)スコア、高次脳機能障害患者に関しては反応性や自発性の有無等。その他研究者が必要と認めた指標。ただし、状況や必要性に応じて取得する変数を適宜取捨選択する。 研究担当者氏名:大井 雄太(医師) 国立病院機構舞鶴医療センター 脳神経外科住所:京都府舞鶴市字行永 2410 番地	所属(診療科等)	国立病院機構舞鶴医療センター 脳神経外科
研究期間 研究機関の長の許可日から 2027 年 3 月 31 日まで medi VRカグラガイド下リハビリテーション(体性認知協調療法とも呼ぶ)の各種身体機能、認知機能指標に対する改善効果を検証する。外来、あるいは入院患者に対して使用し、その効果を前向き介入研究のデータとして集め、他疾患でカグラを使わない患者のデータも同様にデータ収集して比較するなど多面的な解析を行う。    一対象となる患者さん:  身体機能障害(失調症状、歩行やバランス障害、上肢機能障害、構音・嚥下障害等)、又は認知機能障害(高次脳機能障害、注意障害及び半側空間無視等)を呈する患者。各疾患又は病態に応じてそれぞれ10-15 例程度。ただし可能な範囲でより多くの被験者データを集め、精度の高い解析を目指す。    一利用する情報: 患者さんの背景(年齢、性別、基礎疾患など)本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「問い合わせ」までご連絡ください。    一研究の概要・方法: medi VR カグラガイド下リハビリテーションの前後で基礎疾患や病態に応じて以下の指標を計測、評価。各種身体機能評価指標: 10m 歩行テスト、Timed up and go test (TUG)、Functional Independence Measure (FIM)、Berg balance scale (BBS)、重心動揺計測定値、等。各種認知機能評価指標: Mini-Mental State、長谷川式簡易知能スケール(HDS-R)、Self-Rating Depression Scale (SDS)スコア、高次脳機能障害患者に関しては反応性や自発性の有無等。その他研究者が必要と認めた指標。ただし、状況や必要性に応じて取得する変数を適宜取捨選択する。   研究担当者氏名:大井 雄太 (医師)    国立病院機構舞鶴医療センター 脳神経外科 住所:京都府舞鶴市字行永 2410 番地	研究責任者	大井 雄太
mediVRカグラガイド下リハビリテーション(体性認知協調療法とも呼ぶ)の各種身体機能、認知機能指標に対する改善効果を検証する。外来、あるいは入院患者に対して使用し、その効果を前向き介入研究のデータとして集め、他疾患でカグラを使わない患者のデータも同様にデータ収集して比較するなど多面的な解析を行う。  ●対象となる患者さん: 身体機能障害(失調症状、歩行やバランス障害、上肢機能障害、構音・嚥下障害等)、又は認知機能障害(高次脳機能障害、注意障害及び半側空間無視等)を呈する患者。各疾患又は病態に応じてそれぞれ10-15 例程度。ただし可能な範囲でより多くの被験者データを集め、精度の高い解析を目指す。  ●利用する情報: 患者さんの背景(年齢、性別、基礎疾患など)本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「問い合わせ」までご連絡ください。  ●研究の概要・方法: mediVRカグラガイド下リハビリテーションの前後で基礎疾患や病態に応じて以下の指標を計測、評価。各種身体機能評価指標:10m歩行テスト、Timed up and go test (TuG)、Functional Independence Measure (FIM)、Berg balance scale (BBS)、重心動揺計測定値、等。各種認知機能評価指標:Mini-Mental State、長谷川式簡易知能スケール(HDS-R)、Self-Rating Depression Scale (SDS)スコア、高次脳機能評書患者に関しては反応性や自発性の有無等。その他研究者が必要と認めた指標。ただし、状況や必要性に応じて取得する変数を適宜取捨選択する。研究担当者氏名:大井 雄太 (医師) 国立病院機構舞鶴医療センター 脳神経外科 住所:京都府舞鶴市字行永 2410番地	研究機関	国立病院機構舞鶴医療センター 脳神経外科
・ も呼ぶ)の各種身体機能、認知機能指標に対する改善効果を検証する。外来、あるいは入院患者に対して使用し、その効果を前向き介入研究のデータとして集め、他疾患でカグラを使わない患者のデータも同様にデータ収集して比較するなど多面的な解析を行う。  ●対象となる患者さん;  身体機能障害(失調症状、歩行やパランス障害、上肢機能障害、構音・嚥下障害等)、又は認知機能障害(高次脳機能障害、注意障害及び半側空間無視等)を呈する患者。各疾患又は病態に応じてそれぞれ10-15 例程度。ただし可能な範囲でより多くの被験者データを集め、精度の高い解析を目指す。  ●利用する情報;患者さんの背景(年齢、性別、基礎疾患など)本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「問い合わせ」までご連絡ください。  ●研究の概要・方法:  mediVR カグラガイド下リハビリテーションの前後で基礎疾患や病態に応じて以下の指標を計測、評価。各種身体機能評価指標:10m歩行テスト、Timed up and go test(TUG)、Functional Independence Measure (FIM)、Berg balance scale (BBS)、重心動揺計測定値、等。各種認知機能評価指標:Mini-Mental State、長谷川式簡易知能スケール(HDS-R)、Self-Rating Depression Scale (SDS)スコア、高次脳機能障害患者に関しては反応性や自発性の有無等。その他研究者が必要と認めた指標。ただし、状況や必要性に応じて取得する変数を適宜取捨選択する。研究担当者氏名:大井 雄太 (医師)  国立病院機構舞鶴医療センター 脳神経外科 住所:京都府舞鶴市字行永 2410 番地	研究期間	研究機関の長の許可日から 2027 年 3 月 31 日まで
研究目的と意義  る。外来、あるいは入院患者に対して使用し、その効果を前向き介入研究のデータとして集め、他疾患でカグラを使わない患者のデータも同様にデータ収集して比較するなど多面的な解析を行う。  ●対象となる患者さん: 身体機能障害(失調症状、歩行やパランス障害、上肢機能障害、構音・嚥下障害等)、又は認知機能障害(高次脳機能障害、注意障害及び半側空間無視等)を呈する患者。各疾患又は病態に応じてそれぞれ10-15 例程度。ただし可能な範囲でより多くの被験者データを集め、精度の高い解析を目指す。  ●利用する情報: 患者さんの背景(年齢、性別、基礎疾患など)本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「問い合わせ」までご連絡ください。  ●研究の概要・方法: mediVR カグラガイド下リハビリテーションの前後で基礎疾患や病態に応じて以下の指標を計測、評価。各種身体機能評価指標:10m歩行テスト、Timed up and go test(TUG)、Functional Independence Measure (FIM)、Berg balance scale (BBS)、重心動揺計測定値、等。各種認知機能評価指標:Mini-Mental State、長谷川式簡易知能スケール(HDS-R)、Self-患者に関しては反応性や自発性の有無等。その他研究者が必要と認めた指標。ただし、状況や必要性に応じて取得する変数を適宜取捨選択する。研究担当者氏名:大井 雄太 (医師) 国立病院機構舞鶴医療センター 脳神経外科住所:京都府舞鶴市字行永 2410 番地	研究目的と意義	mediVRカグラガイド下リハビリテーション(体性認知協調療法と
入研究のデータとして集め、他疾患でカグラを使わない患者のデータも同様にデータ収集して比較するなど多面的な解析を行う。  ●対象となる患者さん;  身体機能障害(失調症状、歩行やバランス障害、上肢機能障害、構音・嚥下障害等)、又は認知機能障害(高次脳機能障害、注意障害及び半側空間無視等)を呈する患者。各疾患又は病態に応じてそれぞれ10-15例程度。ただし可能な範囲でより多くの被験者データを集め、精度の高い解析を目指す。  ●利用する情報: 患者さんの背景(年齢、性別、基礎疾患など)本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「問い合わせ」までご連絡ください。  ●研究の概要・方法:  mediVR カグラガイド下リハビリテーションの前後で基礎疾患や病態に応じて以下の指標を計測、評価。各種身体機能評価指標:10m歩行テスト、Timed up and go test(TUG)、Functional Independence Measure(FIM)、Berg balance scale(BBS)、重心動揺計測定値、等。各種認知機能評価指標:Mini→Mental State、長谷川式簡易知能スケール(HDS-R)、Self-Rating Depression Scale(SDS)スコア、高次脳機能障害患者に関しては反応性や自発性の有無等。その他研究者が必要と認めた指標。ただし、状況や必要性に応じて取得する変数を適宜取捨選択する。  研究担当者氏名:大井 雄太(医師) 国立病院機構舞鶴医療センター 脳神経外科住所:京都府舞鶴市字行永 2410番地		も呼ぶ)の各種身体機能、認知機能指標に対する改善効果を検証す
タも同様にデータ収集して比較するなど多面的な解析を行う。  ●対象となる患者さん: 身体機能障害(失調症状、歩行やバランス障害、上肢機能障害、構音・嚥下障害等)、又は認知機能障害(高次脳機能障害、注意障害及び半側空間無視等)を呈する患者。各疾患又は病態に応じてそれぞれ 10-15 例程度。ただし可能な範囲でより多くの被験者データを集め、精度の高い解析を目指す。  ●利用する情報: 患者さんの背景(年齢、性別、基礎疾患など)本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「問い合わせ」までご連絡ください。  ●研究の概要・方法: mediVR カグラガイド下リハビリテーションの前後で基礎疾患や病態に応じて以下の指標を計測、評価。各種身体機能評価指標:10m歩行テスト、Timed up and go test(TUG)、Functional Independence Measure(FIM)、Berg balance scale(BBS)、重心動揺計測定値、等。各種認知機能評価指標:Mini-Mental State、長谷川式簡易知能スケール(HDS-R)、Self-Rating Depression Scale(SDS)スコア、高次脳機能障害患者に関しては反応性や自発性の有無等。その他研究者が必要と認めた指標。ただし、状況や必要性に応じて取得する変数を適宜取捨選択する。  研究担当者氏名:大井 雄太(医師) 国立病院機構舞鶴医療センター 脳神経外科住所:京都府舞鶴市字行永 2410 番地		る。外来、あるいは入院患者に対して使用し、その効果を前向き介
●対象となる患者さん; 身体機能障害(失調症状、歩行やバランス障害、上肢機能障害、 構音・嚥下障害等)、又は認知機能障害(高次脳機能障害、注意障 害及び半側空間無視等)を呈する患者。各疾患又は病態に応じてそれぞれ10-15 例程度。ただし可能な範囲でより多くの被験者データを集め、精度の高い解析を目指す。  ●利用する情報; 患者さんの背景(年齢、性別、基礎疾患など)本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「問い合わせ」までご連絡ください。  ●研究の概要・方法: mediVR カグラガイド下リハビリテーションの前後で基礎疾患や病態に応じて以下の指標を計測、評価。各種身体機能評価指標:10m歩行テスト、Timed up and go test(TUG)、Functional Independence Measure(FIM)、Berg balance scale(BBS)、重心動揺計測定値、等。各種認知機能評価指標:Mini-Mental State、長谷川式簡易知能スケール(HDS-R)、Self-Rating Depression Scale(SDS)スコア、高次脳機能障害患者に関しては反応性や自発性の有無等。その他研究者が必要と認めた指標。ただし、状況や必要性に応じて取得する変数を適宜取捨選択する。  研究担当者氏名:大井 雄太(医師) 国立病院機構舞鶴医療センター 脳神経外科住所:京都府舞鶴市字行永 2410 番地		入研究のデータとして集め、他疾患でカグラを使わない患者のデー
身体機能障害(失調症状、歩行やバランス障害、上肢機能障害、 構音・嚥下障害等)、又は認知機能障害(高次脳機能障害、注意障 害及び半側空間無視等)を呈する患者。各疾患又は病態に応じてそれぞれ 10-15 例程度。ただし可能な範囲でより多くの被験者データを集め、精度の高い解析を目指す。  ●利用する情報: 患者さんの背景(年齢、性別、基礎疾患など)本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「問い合わせ」までご連絡ください。  ●研究の概要・方法: mediVR カグラガイド下リハビリテーションの前後で基礎疾患や病態に応じて以下の指標を計測、評価。各種身体機能評価指標:10m歩行テスト、Timed up and go test(TUG)、Functional Independence Measure(FIM)、Berg balance scale(BBS)、重心動揺計測定値、等。各種認知機能評価指標:Mini-Mental State、長谷川式簡易知能スケール(HDS-R)、Self-Rating Depression Scale(SDS)スコア、高次脳機能障害患者に関しては反応性や自発性の有無等。その他研究者が必要と認めた指標。ただし、状況や必要性に応じて取得する変数を適宜取捨選択する。  研究担当者氏名:大井 雄太(医師)  国立病院機構舞鶴医療センター 脳神経外科住所:京都府舞鶴市字行永 2410 番地		タも同様にデータ収集して比較するなど多面的な解析を行う。
構音・嚥下障害等)、又は認知機能障害(高次脳機能障害、注意障害及び半側空間無視等)を呈する患者。各疾患又は病態に応じてそれぞれ 10-15 例程度。ただし可能な範囲でより多くの被験者データを集め、精度の高い解析を目指す。  ●利用する情報; 患者さんの背景(年齢、性別、基礎疾患など)本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「問い合わせ」までご連絡ください。  ●研究の概要・方法: mediVR カグラガイド下リハビリテーションの前後で基礎疾患や病態に応じて以下の指標を計測、評価。各種身体機能評価指標:10m歩行テスト、Timed up and go test(TUG)、Functional Independence Measure(FIM)、Berg balance scale(BBS)、重心動揺計測定値、等。各種認知機能評価指標:Mini-Mental State、長谷川式簡易知能スケール(HDS-R)、Self-Rating Depression Scale(SDS)スコア、高次脳機能障害患者に関しては反応性や自発性の有無等。その他研究者が必要と認めた指標。ただし、状況や必要性に応じて取得する変数を適宜取捨選択する。研究担当者氏名:大井 雄太(医師) 国立病院機構舞鶴医療センター 脳神経外科住所:京都府舞鶴市字行永 2410 番地	研究内容	●対象となる患者さん;
審及び半側空間無視等)を呈する患者。各疾患又は病態に応じてそれぞれ 10-15 例程度。ただし可能な範囲でより多くの被験者データを集め、精度の高い解析を目指す。  ●利用する情報: 患者さんの背景(年齢、性別、基礎疾患など)本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「問い合わせ」までご連絡ください。  ●研究の概要・方法: mediVR カグラガイド下リハビリテーションの前後で基礎疾患や病態に応じて以下の指標を計測、評価。各種身体機能評価指標: 10m歩行テスト、Timed up and go test(TUG)、Functional Independence Measure(FIM)、Berg balance scale(BBS)、重心動揺計測定値、等。各種認知機能評価指標:Mini-Mental State、長谷川式簡易知能スケール(HDS-R)、Self-Rating Depression Scale(SDS)スコア、高次脳機能障害患者に関しては反応性や自発性の有無等。その他研究者が必要と認めた指標。ただし、状況や必要性に応じて取得する変数を適宜取捨選択する。  研究担当者氏名:大井 雄太(医師) 国立病院機構舞鶴医療センター 脳神経外科住所:京都府舞鶴市字行永 2410 番地		身体機能障害(失調症状、歩行やバランス障害、上肢機能障害、
れぞれ 10-15 例程度。ただし可能な範囲でより多くの被験者データを集め、精度の高い解析を目指す。  ●利用する情報: 患者さんの背景(年齢、性別、基礎疾患など)本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「問い合わせ」までご連絡ください。  ●研究の概要・方法: mediVR カグラガイド下リハビリテーションの前後で基礎疾患や病態に応じて以下の指標を計測、評価。各種身体機能評価指標:10m歩行テスト、Timed up and go test(TUG)、Functional Independence Measure(FIM)、Berg balance scale(BBS)、重心動揺計測定値、等。各種認知機能評価指標:Mini-Mental State、長谷川式簡易知能スケール(HDS-R)、Self-Rating Depression Scale(SDS)スコア、高次脳機能障害患者に関しては反応性や自発性の有無等。その他研究者が必要と認めた指標。ただし、状況や必要性に応じて取得する変数を適宜取捨選択する。  研究担当者氏名:大井 雄太(医師)  国立病院機構舞鶴医療センター 脳神経外科住所:京都府舞鶴市字行永 2410 番地		構音・嚥下障害等)、又は認知機能障害(高次脳機能障害、注意障
を集め、精度の高い解析を目指す。  ●利用する情報: 患者さんの背景(年齢、性別、基礎疾患など) 本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は 下記の「問い合わせ」までご連絡ください。  ●研究の概要・方法: mediVR カグラガイド下リハビリテーションの前後で基礎疾患や 病態に応じて以下の指標を計測、評価。各種身体機能評価指標: 10m歩行テスト、Timed up and go test(TUG)、Functional Independence Measure(FIM)、Berg balance scale(BBS)、重心動揺 計測定値、等。各種認知機能評価指標: Mini-Mental State、長谷 川式簡易知能スケール(HDS-R)、Self-Rating Depression Scale(SDS)スコア、高次脳機能障害患者に関しては反応性や自発性 の有無等。その他研究者が必要と認めた指標。ただし、状況や必要 性に応じて取得する変数を適宜取捨選択する。 研究担当者氏名:大井 雄太(医師) 国立病院機構舞鶴医療センター 脳神経外科 住所:京都府舞鶴市字行永 2410 番地		害及び半側空間無視等)を呈する患者。各疾患又は病態に応じてそ
●利用する情報: 患者さんの背景(年齢、性別、基礎疾患など) 本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は 下記の「問い合わせ」までご連絡ください。  ●研究の概要・方法: mediVR カグラガイド下リハビリテーションの前後で基礎疾患や 病態に応じて以下の指標を計測、評価。各種身体機能評価指標: 10m 歩行テスト、Timed up and go test(TUG)、Functional Independence Measure(FIM)、Berg balance scale(BBS)、重心動揺 計測定値、等。各種認知機能評価指標: Mini-Mental State、長谷 川式簡易知能スケール(HDS-R)、Self-Rating Depression Scale(SDS)スコア、高次脳機能障害患者に関しては反応性や自発性 の有無等。その他研究者が必要と認めた指標。ただし、状況や必要 性に応じて取得する変数を適宜取捨選択する。  研究担当者氏名:大井 雄太(医師) 国立病院機構舞鶴医療センター 脳神経外科 住所:京都府舞鶴市字行永 2410 番地		れぞれ 10-15 例程度。ただし可能な範囲でより多くの被験者データ
本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「問い合わせ」までご連絡ください。  ●研究の概要・方法; mediVR カグラガイド下リハビリテーションの前後で基礎疾患や病態に応じて以下の指標を計測、評価。各種身体機能評価指標: 10m 歩行テスト、Timed up and go test(TUG)、Functional Independence Measure (FIM)、Berg balance scale (BBS)、重心動揺計測定値、等。各種認知機能評価指標: Mini-Mental State、長谷川式簡易知能スケール(HDS-R)、Self-Rating Depression Scale (SDS)スコア、高次脳機能障害患者に関しては反応性や自発性の有無等。その他研究者が必要と認めた指標。ただし、状況や必要性に応じて取得する変数を適宜取捨選択する。  研究担当者氏名:大井 雄太 (医師) 国立病院機構舞鶴医療センター 脳神経外科住所:京都府舞鶴市字行永 2410 番地		を集め、精度の高い解析を目指す。
下記の「問い合わせ」までご連絡ください。  ●研究の概要・方法; mediVR カグラガイド下リハビリテーションの前後で基礎疾患や病態に応じて以下の指標を計測、評価。各種身体機能評価指標: 10m 歩行テスト、Timed up and go test(TUG)、Functional Independence Measure(FIM)、Berg balance scale(BBS)、重心動揺 計測定値、等。各種認知機能評価指標:Mini-Mental State、長谷 川式簡易知能スケール(HDS-R)、Self-Rating Depression Scale(SDS)スコア、高次脳機能障害患者に関しては反応性や自発性 の有無等。その他研究者が必要と認めた指標。ただし、状況や必要 性に応じて取得する変数を適宜取捨選択する。  研究担当者氏名:大井 雄太 (医師) 国立病院機構舞鶴医療センター 脳神経外科 住所:京都府舞鶴市字行永 2410 番地		●利用する情報; 患者さんの背景(年齢、性別、基礎疾患など)
研究内容  ●研究の概要・方法; mediVR カグラガイド下リハビリテーションの前後で基礎疾患や病態に応じて以下の指標を計測、評価。各種身体機能評価指標: 10m 歩行テスト、Timed up and go test(TUG)、Functional Independence Measure(FIM)、Berg balance scale(BBS)、重心動揺 計測定値、等。各種認知機能評価指標:Mini-Mental State、長谷 川式簡易知能スケール(HDS-R)、Self-Rating Depression Scale(SDS)スコア、高次脳機能障害患者に関しては反応性や自発性 の有無等。その他研究者が必要と認めた指標。ただし、状況や必要性に応じて取得する変数を適宜取捨選択する。 研究担当者氏名:大井 雄太(医師) 国立病院機構舞鶴医療センター 脳神経外科 住所:京都府舞鶴市字行永 2410 番地		本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は
mediVR カグラガイド下リハビリテーションの前後で基礎疾患や病態に応じて以下の指標を計測、評価。各種身体機能評価指標: 10m 歩行テスト、Timed up and go test(TUG)、Functional Independence Measure(FIM)、Berg balance scale(BBS)、重心動揺計測定値、等。各種認知機能評価指標:Mini-Mental State、長谷川式簡易知能スケール(HDS-R)、Self-Rating Depression Scale(SDS)スコア、高次脳機能障害患者に関しては反応性や自発性の有無等。その他研究者が必要と認めた指標。ただし、状況や必要性に応じて取得する変数を適宜取捨選択する。 研究担当者氏名:大井 雄太(医師) 国立病院機構舞鶴医療センター 脳神経外科住所:京都府舞鶴市字行永 2410 番地		下記の「問い合わせ」までご連絡ください。
病態に応じて以下の指標を計測、評価。各種身体機能評価指標: 10m 歩行テスト、Timed up and go test(TUG)、Functional Independence Measure(FIM)、Berg balance scale(BBS)、重心動揺 計測定値、等。各種認知機能評価指標:Mini-Mental State、長谷 川式簡易知能スケール(HDS-R)、Self-Rating Depression Scale(SDS)スコア、高次脳機能障害患者に関しては反応性や自発性 の有無等。その他研究者が必要と認めた指標。ただし、状況や必要 性に応じて取得する変数を適宜取捨選択する。 研究担当者氏名:大井 雄太(医師) 国立病院機構舞鶴医療センター 脳神経外科 住所:京都府舞鶴市字行永 2410 番地		●研究の概要・方法 ;
10m 歩行テスト、Timed up and go test(TUG)、Functional Independence Measure(FIM)、Berg balance scale(BBS)、重心動揺計測定値、等。各種認知機能評価指標:Mini-Mental State、長谷川式簡易知能スケール(HDS-R)、Self-Rating Depression Scale(SDS)スコア、高次脳機能障害患者に関しては反応性や自発性の有無等。その他研究者が必要と認めた指標。ただし、状況や必要性に応じて取得する変数を適宜取捨選択する。研究担当者氏名:大井 雄太(医師) 国立病院機構舞鶴医療センター 脳神経外科住所:京都府舞鶴市字行永 2410 番地		mediVR カグラガイド下リハビリテーションの前後で基礎疾患や
Independence Measure (FIM)、Berg balance scale (BBS)、重心動揺計測定値、等。各種認知機能評価指標: Mini-Mental State、長谷川式簡易知能スケール (HDS-R)、Self-Rating Depression Scale (SDS) スコア、高次脳機能障害患者に関しては反応性や自発性の有無等。その他研究者が必要と認めた指標。ただし、状況や必要性に応じて取得する変数を適宜取捨選択する。  研究担当者氏名:大井 雄太 (医師) 国立病院機構舞鶴医療センター 脳神経外科住所:京都府舞鶴市字行永 2410 番地		病態に応じて以下の指標を計測、評価。各種身体機能評価指標:
計測定値、等。各種認知機能評価指標: Mini-Mental State、長谷 川式簡易知能スケール(HDS-R)、Self-Rating Depression Scale(SDS)スコア、高次脳機能障害患者に関しては反応性や自発性 の有無等。その他研究者が必要と認めた指標。ただし、状況や必要 性に応じて取得する変数を適宜取捨選択する。 研究担当者氏名: 大井 雄太 (医師) 国立病院機構舞鶴医療センター 脳神経外科 住所:京都府舞鶴市字行永 2410 番地		10m 歩行テスト、Timed up and go test(TUG)、Functional
川式簡易知能スケール(HDS-R)、Self-Rating Depression Scale(SDS)スコア、高次脳機能障害患者に関しては反応性や自発性の有無等。その他研究者が必要と認めた指標。ただし、状況や必要性に応じて取得する変数を適宜取捨選択する。  研究担当者氏名:大井 雄太(医師) 国立病院機構舞鶴医療センター 脳神経外科住所:京都府舞鶴市字行永 2410 番地		Independence Measure(FIM)、Berg balance scale(BBS)、重心動揺
Scale (SDS) スコア、高次脳機能障害患者に関しては反応性や自発性の有無等。その他研究者が必要と認めた指標。ただし、状況や必要性に応じて取得する変数を適宜取捨選択する。 研究担当者氏名:大井 雄太 (医師) 国立病院機構舞鶴医療センター 脳神経外科住所:京都府舞鶴市字行永 2410 番地		計測定值、等。各種認知機能評価指標:Mini-Mental State、長谷
の有無等。その他研究者が必要と認めた指標。ただし、状況や必要性に応じて取得する変数を適宜取捨選択する。     研究担当者氏名:大井 雄太 (医師)     国立病院機構舞鶴医療センター 脳神経外科 住所:京都府舞鶴市字行永 2410 番地		川式簡易知能スケール(HDS-R)、Self-Rating Depression
性に応じて取得する変数を適宜取捨選択する。     研究担当者氏名:大井 雄太 (医師)     国立病院機構舞鶴医療センター 脳神経外科 住所:京都府舞鶴市字行永 2410 番地		Scale(SDS)スコア、高次脳機能障害患者に関しては反応性や自発性
研究担当者氏名:大井 雄太 (医師) 国立病院機構舞鶴医療センター 脳神経外科 住所:京都府舞鶴市字行永 2410 番地		の有無等。その他研究者が必要と認めた指標。ただし、状況や必要
問い合わせ先 目からわせ先 住所:京都府舞鶴市字行永 2410 番地		性に応じて取得する変数を適宜取捨選択する。
問い合わせ先 住所:京都府舞鶴市字行永 2410 番地	問い合わせ先	研究担当者氏名:大井 雄太(医師)
		国立病院機構舞鶴医療センター 脳神経外科
雷話·0773 (62) 2680 FAX 0773 (63) 5332		住所:京都府舞鶴市字行永 2410 番地
Full . 0770 (02) 2000 1700 (00) 0002		電話: 0773 (62) 2680 FAX 0773 (63) 5332